

「環境報告ガイドライン2018年版」対応表 -Matrix of Response to “Environmental Reporting Guidelines 2018” -

【本報告書の構成について】

本報告書は、環境省発行「環境報告ガイドライン2018年版」が示す内容を参考に、現時点で開示が可能な範囲のデータを使用し、構成しています。以下は、同ガイドラインの各項目に対して、本報告書の何ページが対応しているかを記載しています。

#	項目	対応ページ
[1] 環境報告の基礎情報		
1	環境報告の基本的要件	01
2	主な実績評価指標の推移	15～19
[2] 環境報告の記載事項		
1	経営責任者のコミットメント	01, 02
2	ガバナンス	03, 04, 08
3	ステークホルダーエンゲージメントの状況	06, 10, 11, 14
4	リスクマネジメント	04, 08, 11
5	ビジネスモデル	02, 03, 11～13
6	バリューチェーンマネジメント	11, 17, 20
7	長期ビジョン	02, 08～10

#	項目	対応ページ
8	戦略	02, 05～10
9	重要な環境課題の特定方法	02, 04, 08
10	事業者の重要な環境課題	01, 02, 04～10
[参考資料] 主な環境課題とその実績評価指標		
1	気候変動	05～09, 15, 17, 18
2	水資源	15, 18
3	生物多様性	05, 06, 14
4	資源循環	05～07, 16, 18
5	化学物質	16, 18
6	汚染予防	20

※「環境報告ガイドライン2018年版」は、以下の環境省HPに公開されています。
URL : <http://www.env.go.jp/policy/2018.html>